

コンプライアンス事件簿『飲酒編』

改訂内容

2022 年 12 月 13 日

ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社

2016 年 7 月までのコンテンツとは、以下の箇所が変更となります。

ページ	該当箇所	変更前	変更後(改訂版)
3	解説	結果として、商業施設の器物を壊すなどの迷惑行為を起こすことにもなります。	結果として、商業施設の器物を壊すなどの 犯罪行為・迷惑行為 を起こすことにもなります。
5	事例	居酒屋で飲んでから数時間経ち、少し睡眠を取り酔いもさめたと思った X 君。大丈夫だろうと考えて出社し、普段通り荷物を積み込み、トラックに乗り込みました。	居酒屋で飲んでから数時間経ち、少し睡眠を取り酔いもさめたと思った X 君。 <u>会社ではおざなりなアルコールチェックしか行われていないことから、</u> 大丈夫だろうと考えて出社し、普段通り荷物を積み込み、トラックに乗り込みました。
5	解説	飲酒運転は刑事罰を含む処分が科せられ、重大な事故を引き起こした場合は、仕事や家庭を失うことにもつながります。この事例のような場合は、自分で判断せずにきちんと正直に会社へ報告しなければなりません。	飲酒運転は刑事罰を含む処分が科せられ、重大な事故を引き起こした場合は、仕事や家庭を失うことにもつながります。この事例のような場合は、自分で判断せずにきちんと正直に会社へ報告しなければなりません。 <u>なお、一定の場合、会社にはアルコールチェックが義務化されました(P.14を参照)。</u>
7	飲酒運転するとどんな罰則があるの？	(該当箇所なし)	*1:酒気を帯びて車両等を運転することとなるおそれがある者に対し酒を提供したり、飲酒をすすめたりした人のこと。

ページ	該当箇所	変更前	変更後(改訂版)
7	「酒気帯び運転」と「酒酔い運転」の違いって？	「酒気帯び運転」は、呼気中アルコール濃度の検知値が 0.15mg 以上の場合です。 「酒酔い運転」は、呼気中のアルコール濃度の値を問わず、正常な運転ができない場合のことです。どちらも道路交通法で規定されています。	「酒気帯び運転」は、呼気中アルコール濃度の検知値が 0.15mg 以上の場合です。 「酒酔い運転」は、呼気中のアルコール濃度の値を問わず、<u>アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態のことです。</u>どちらも道路交通法で規定されています。
8	事例	警察の取り調べの結果、X 君たちは A さんが車で帰ることを知っていながらお酒を飲ませたことが明らかになりました。	警察の取り調べの結果、X 君たちは A さんが車で帰ることを知っていながらお酒を飲ませたことが明らかになり、 <u>逮捕されました。</u>
14	アルコールチェックの義務化 Q&A	(該当箇所なし)	アルコールチェック義務化についての説明を追加しました。